

令和2年度

市政モニターアンケート調査結果  
【買物環境について】



長 崎 市  
商工振興課

## 1. 調査目的

近年、身近な場所から買物をするお店が撤退するなどにより、日常の買物に困難を感じる人々、いわゆる買物弱者が問題視されています。

そこで、市民の皆さんの買物環境の実態を把握・分析し、今後の施策の参考にすることを目的としています。

## 2. 調査の概要

調査期間：令和3年2月1日 ～ 令和3年2月15日

送付数：228人（郵送モニター 181人 インターネットモニター 47人）

回答率：81.6%（186人）

（郵送モニター 172人 インターネット回答 14人）

## 3. 調査結果

「自宅から肉や魚などの生鮮食料品を販売している一番近いお店」については、「スーパー・ショッピングセンター」が約85%と非常に高い率となっています。この回答による一番近いお店までの距離については、徒歩圏内と考えられる500m以下との回答が約56%となっていることがわかりました。

また、一番近いお店を利用している頻度については、約63%が利用していると回答しています。

一方で一番近いお店にもかかわらず、利用していない理由については、「値段が高い」、「品揃えが少ない」との回答が半数以上を占めている結果となりました。

「生鮮食料品等の買い物において、不便に感じること」については、坂や階段などの地形的な要因や、近くにお店がない・交通の便が悪いなどの回答が多くなっています。また、80歳以上の高齢者においては、「高齢のため健康面や体力的につらい」という割合が高くなっています。

このような買い物の不便さに対し、「どんな支援・サービスがあればよいか」については、高齢者だけでなく、20代の若者も宅配サービス、ネット販売、移動販売、交通手段の充実、送迎サービスのなどの要望が挙げられています。

今回の調査結果から買い物を不便と感じる要因については、店舗の形態や自宅からお店までの距離だけではなく、長崎市の地理的特性、交通手段、世代等様々なものがあることから、今後は買い物を支援する民間事業者等と連携を図り、サービスを必要とする市民側からの要望に添えていく必要があります。

#### 4. 調査結果の見方

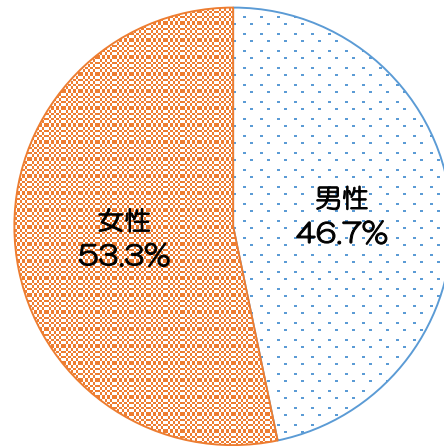
調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が100%を上回る場合があります。

問1 あなたの性別をお答えください。

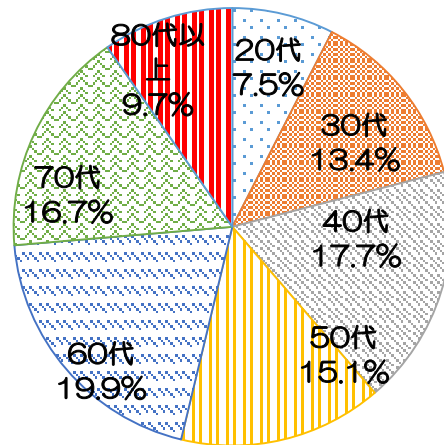
選択肢	回答者数	割合
男性	86人	46.7%
女性	98人	53.3%
合計	184人	100.0%

(無回答：2人)



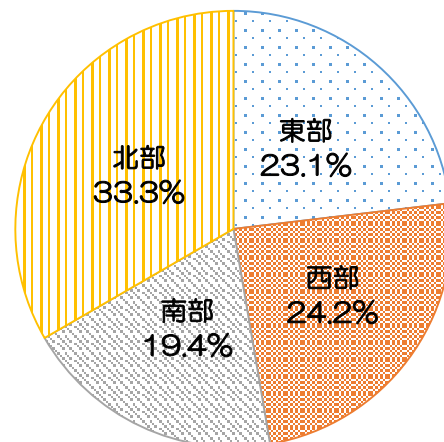
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	14人	7.5%
30代	25人	13.4%
40代	33人	17.7%
50代	28人	15.1%
60代	37人	19.9%
70代	31人	16.7%
80代以上	18人	9.7%
合計	186人	100%



問3 お住まいの町名を教えてください。

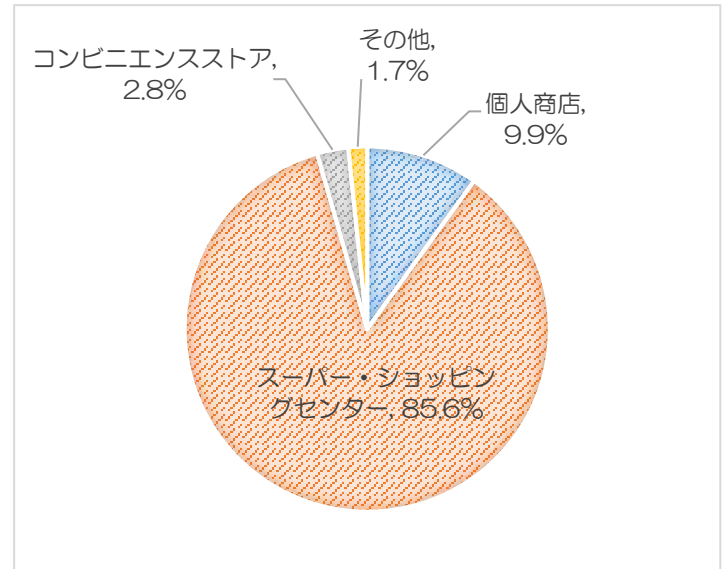
選択肢	回答者数	割合
東部	43人	23.1%
西部	45人	24.2%
南部	36人	19.4%
北部	62人	33.3%
合計	186人	100.0%



※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

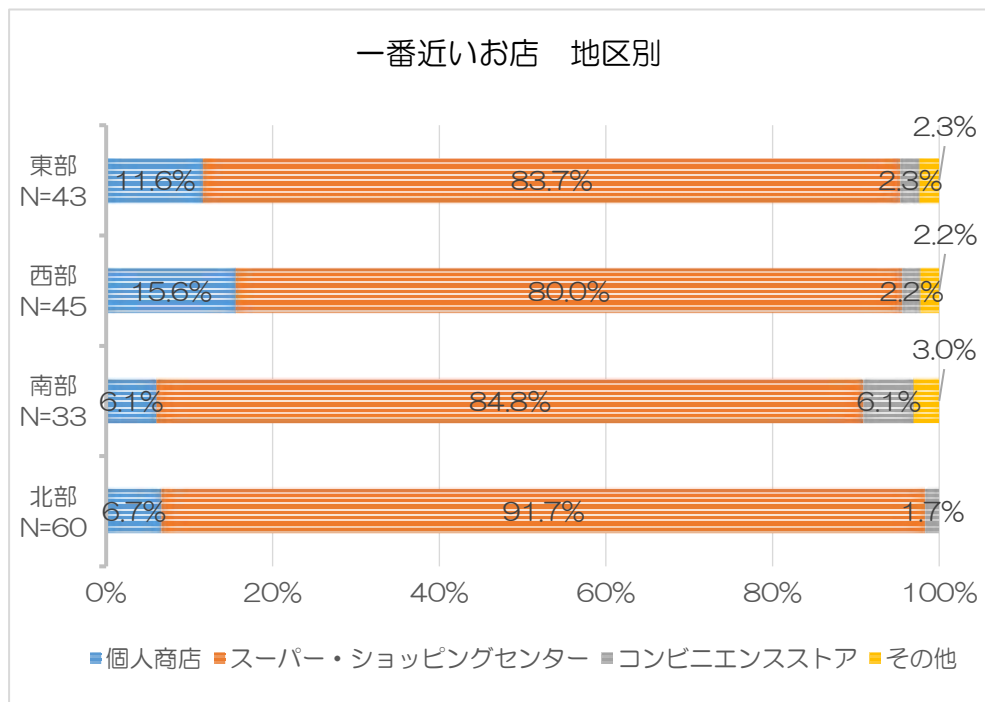
問 27 あなたの自宅から、肉や魚などの生鮮食料品を販売している一番近いお店はどこですか。(当てはまるものを1つ回答)

選択肢	回答者数	割合
個人商店	18人	9.9%
スーパー・ショッピングセンター	155人	85.6%
コンビニエンスストア	5人	2.8%
※その他	3人	1.7%
合計	181人	100%



(無効回答：2人 無回答：3人)

※ その他の回答：生協のお店・JA・がんばランド)

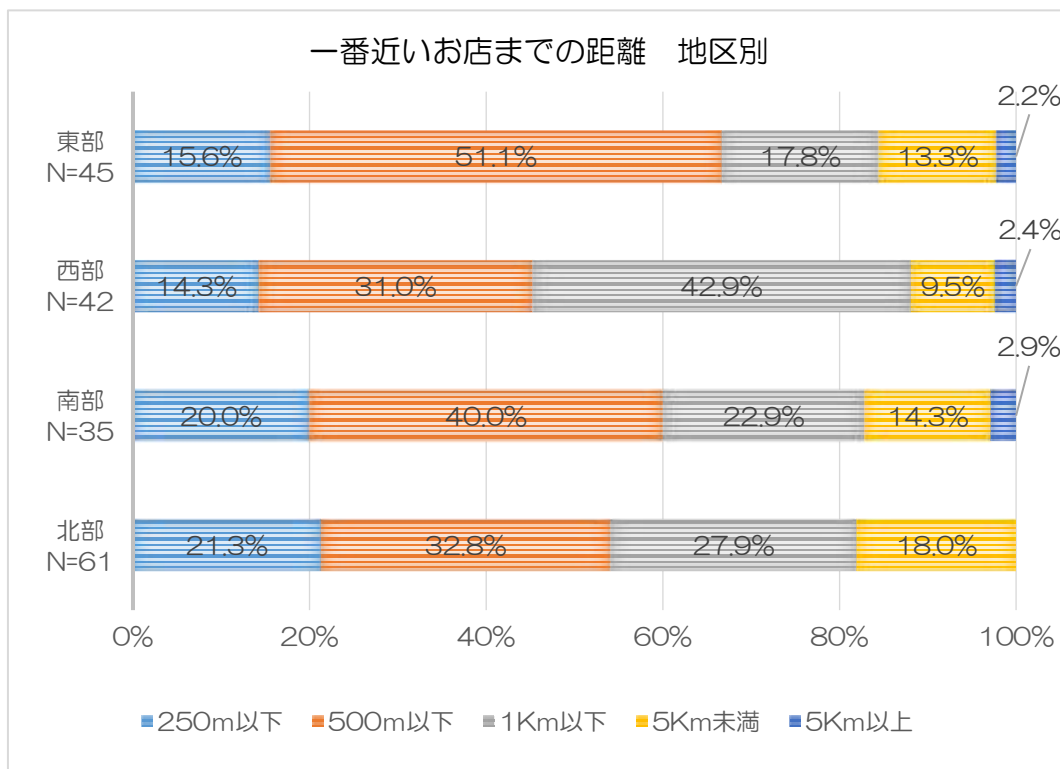
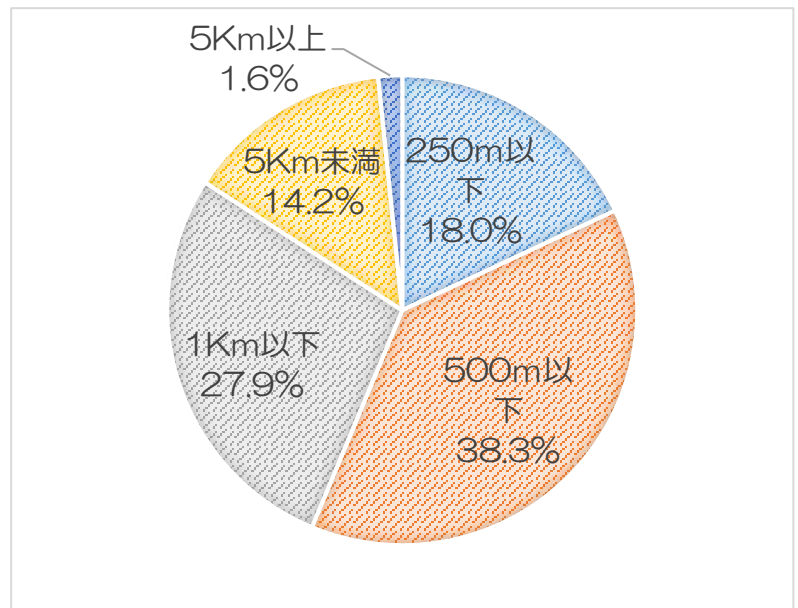


自宅から一番近いお店について、「スーパー・ショッピングセンター」が80%を超えており、地域別においても、次に多い「個人商店」よりかなり高い割合を占めていることがわかりました。また、南部については、「個人商店」と「コンビニエンスストア」が同率であることがわかりました。

問 28 問 27 で回答した一番近いお店までの距離はどれくらいですか。（当てはまるものを1つ回答）

選択肢	回答者数	割合
250m以下	33人	18.0%
500m以下	70人	38.3%
1km以下	51人	27.9%
5km未満	26人	14.2%
5km以上	3人	1.6%
合計	183人	100.0%

(無回答：2人 無効回答：1人)



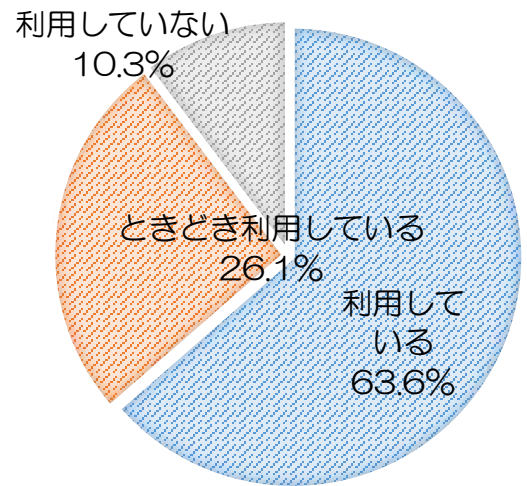
『一番近いお店までの距離』については、徒歩圏内と考えられる「500m以下」にお店がないと回答した方の割合は43.7%あり、約40%の方が何らかの交通手段が必要であるとわかりました。

『地域別』については、徒歩圏内にお店がある割合が最も高いのが「東部」の66.7%で、徒歩圏内にお店がある割合が最も低いのが「西部」の45.3%であり、店舗までの距離に、地区で差があることがわかりました。

問 29 問 27 で回答した一番近いお店を利用していますか。(当てはまるものを 1 つ回答)

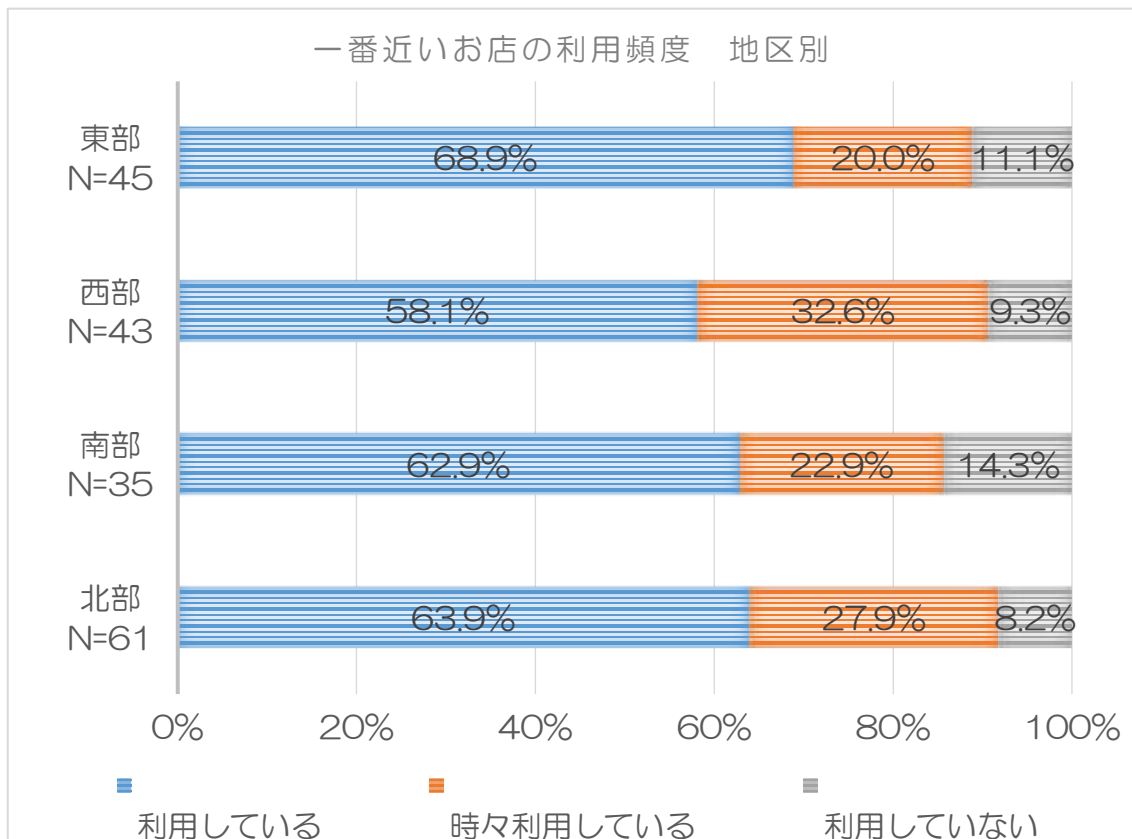
選択肢	回答者数	割合
利用している	117 人	63.6%
ときどき利用している	48 人	26.1%
※利用していない	19 人	10.3%
合計	184 人	100.0%

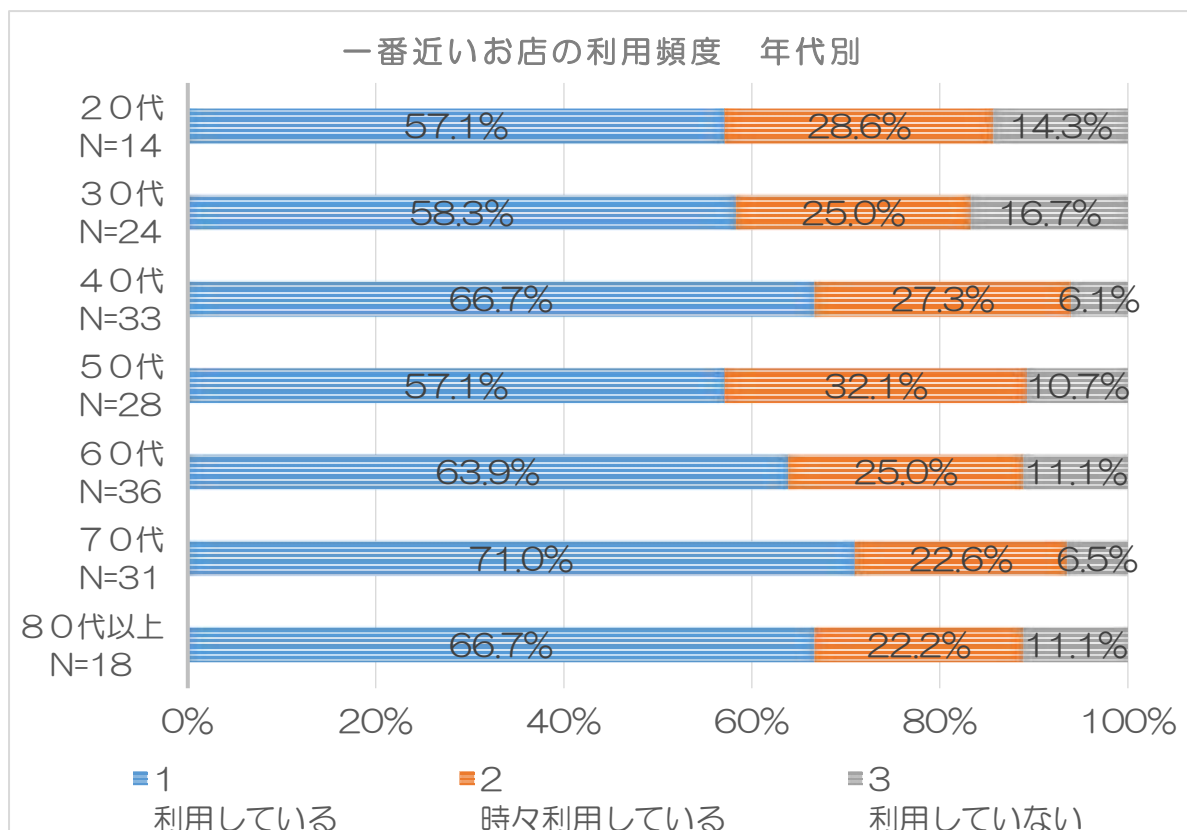
(無回答：2 人)



※利用していないと回答した方の一番近いお店

個人店舗	5 人
スーパー ショッピングセンター	12 人
コンビニエンスストア	2 人





一番近いお店の利用頻度について、「利用している」が63.6%で、過半数以上が利用していることがわかりました。

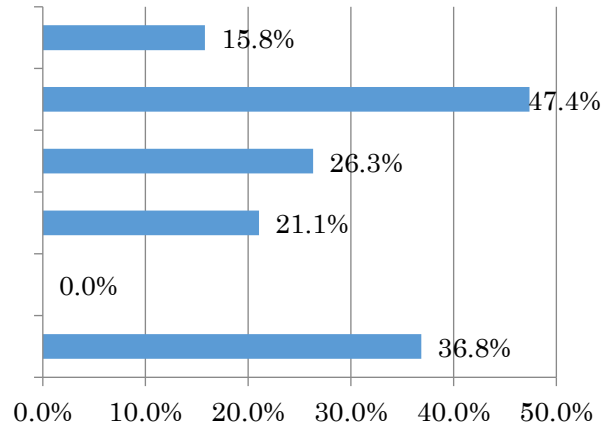
『地域別』では、「東部」が68.9%と、近くのお店をよく利用する一方、「西部」が58.1%と他の地域と比較すると、近くのお店の利用頻度が低いということがわかりました。

『年代別』では、「70代」が71.0%と、近くのお店をよく利用しており、一方、「20代」と「50代」がともに57.1%、「30代」が58.3%と、利用頻度が低くなっています。



問 30 問 29 で「利用していない」と回答した方にお尋ねします。利用していない理由は何ですか。（複数回答可）

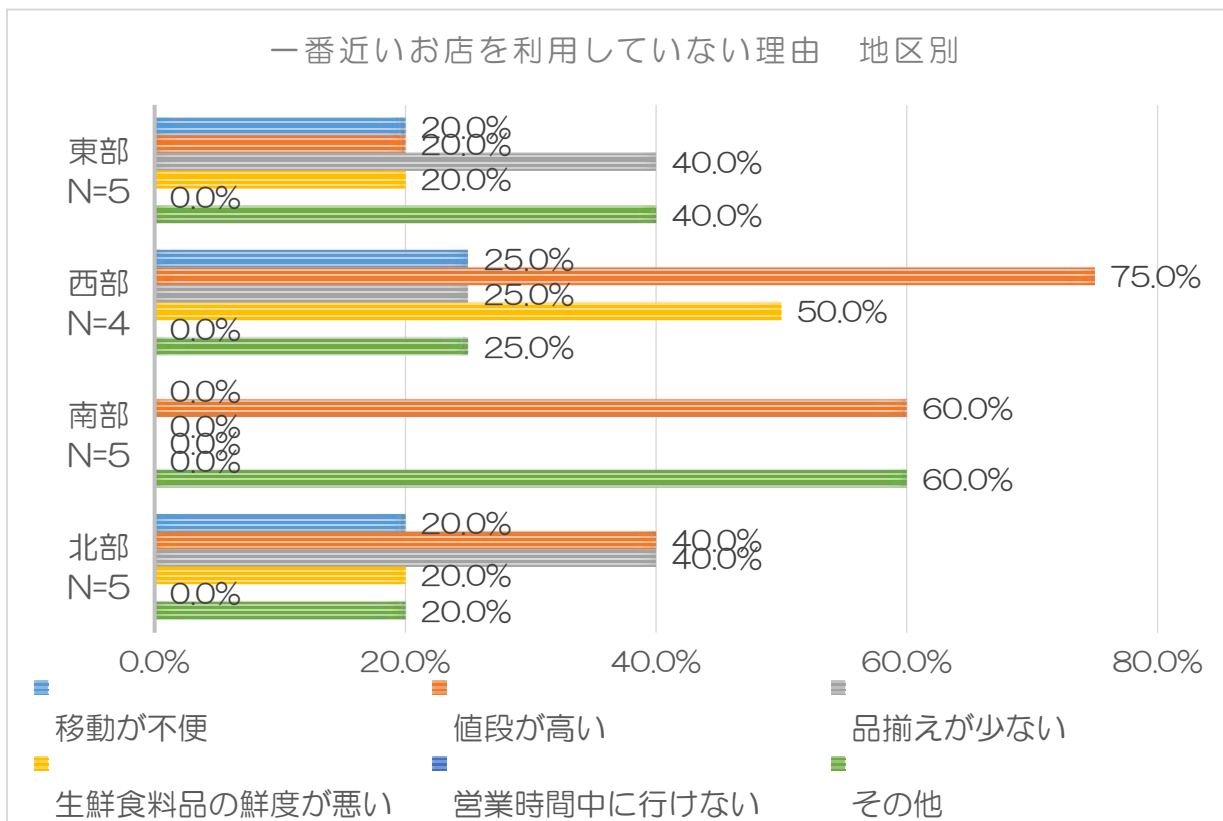
選択肢	回答件数	割合
移動が不便	3 件	15.8%
値段が高い	9 件	47.4%
品揃えが少ない	5 件	26.3%
生鮮食料品の鮮度	4 件	21.1%
営業時間中に行けない	0 件	0.0%
※その他	7 件	36.8%

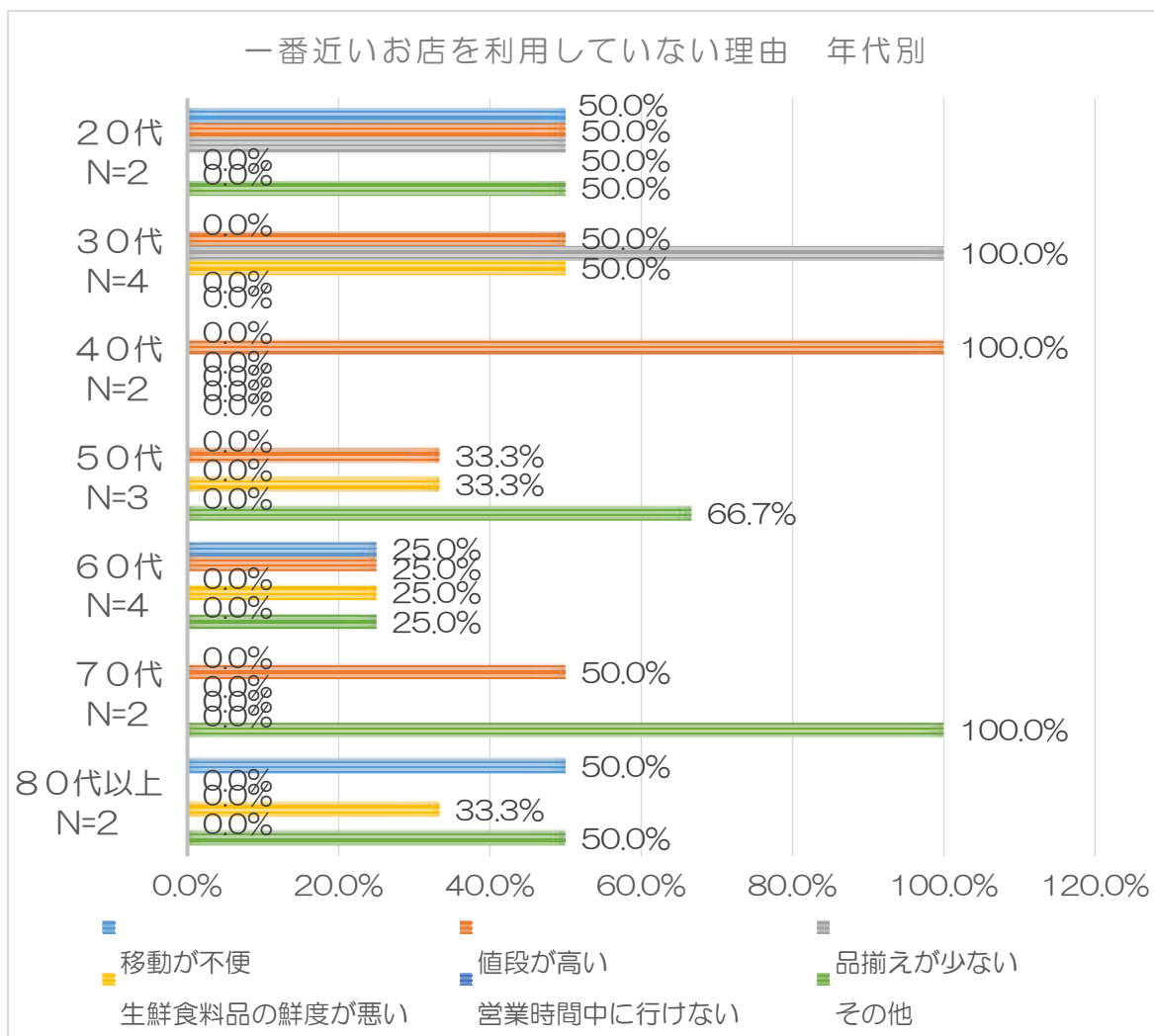


(回答者数：19人 有効回答数：28)

※その他の意見

- ・離れているが、品揃え豊富、安価なスーパーを利用（車利用）
- ・駐車場がない。（複数回答）
- ・他に良い店があるので
- ・魚屋さんで買う習慣がない。（スーパーで買ってしまう）





一番近いお店を利用しない理由について、『地域別』、『年代別』ともに、移動の不便さより、「値段が高い」、「品揃えが少ない」が多く、商品の充実を求める市民が多いことがわかりました。

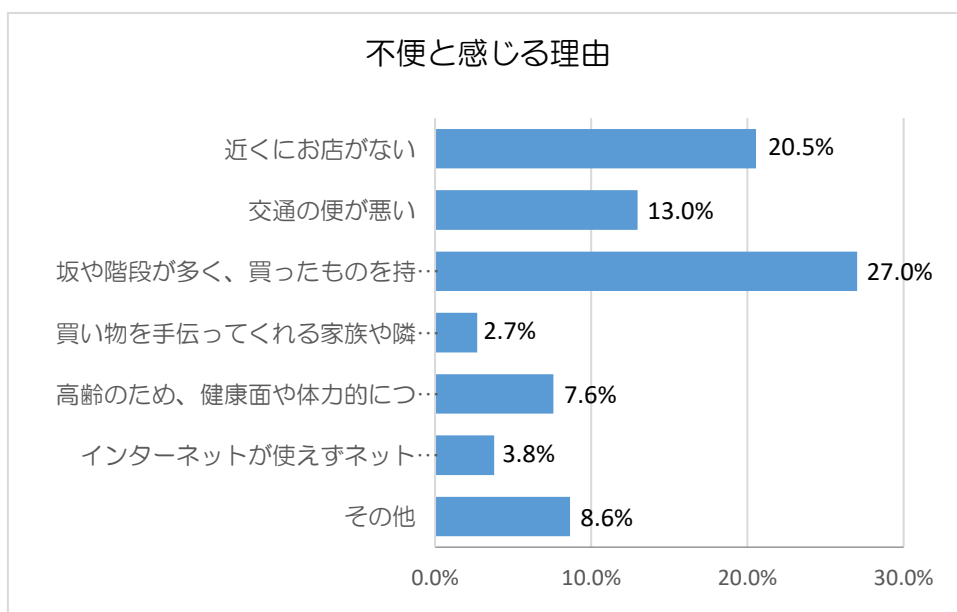
その他の意見からも、離れていますが、品揃えが豊富で安価であり、駐車場がある店舗を利用する傾向にあることがわかりました。

問 31 生鮮食料品等の買物において、不便に感じることはどんなことですか。（複数回答可）

選択肢	回答者数	割合
近くにお店がない	38人	20.5%
交通の便が悪い	24人	13.0%
坂や階段が多く持ち帰るのが大変	50人	27.0%
買い物を手伝ってくれる人がいない	5人	2.7%
高齢のため健康・体力的につらい	14人	7.6%
インターネット等が使えない	7人	3.8%
※その他	16人	8.6%
特になし	84人	45.4%

不便を感じる  
101人 154件

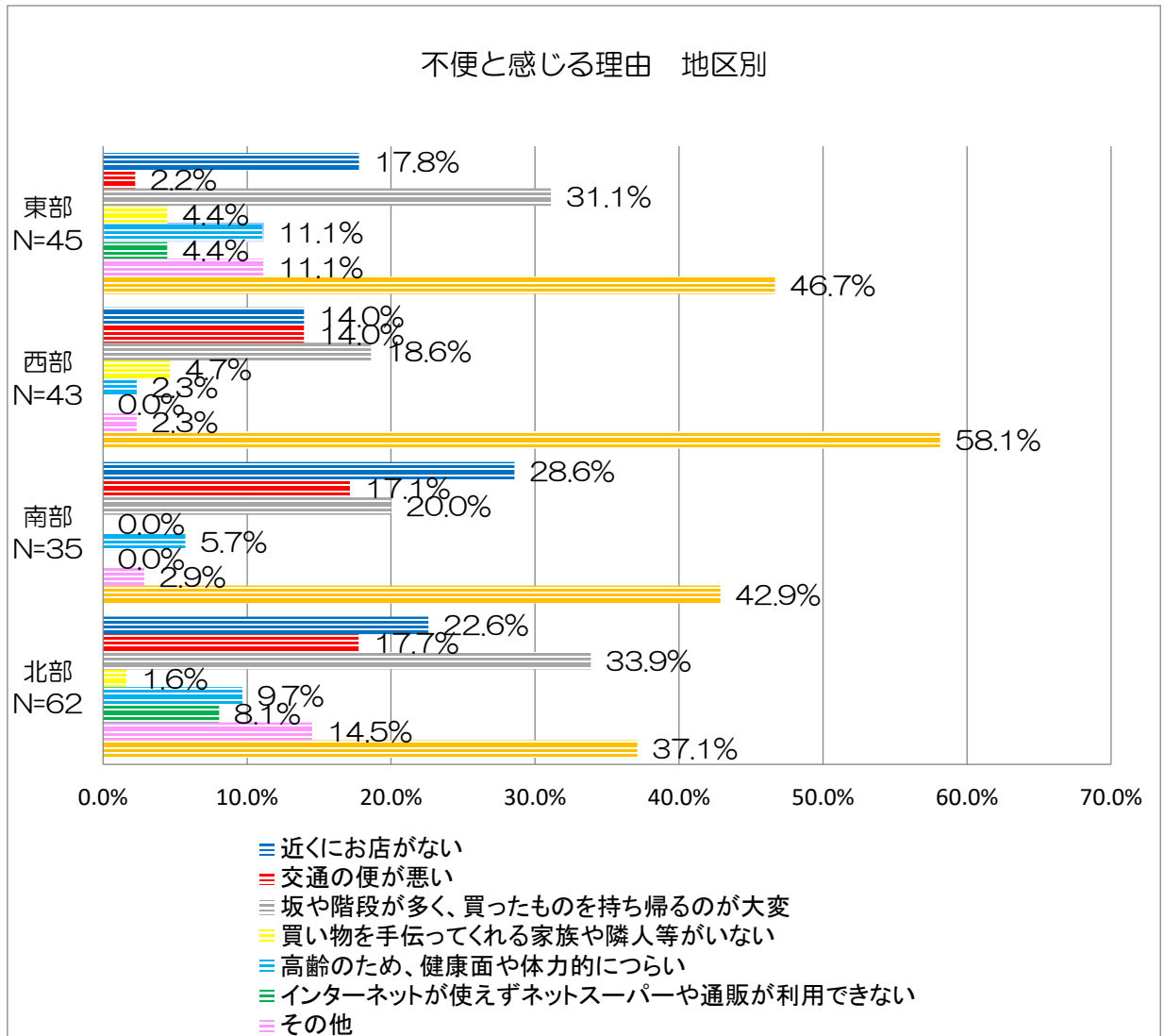
（回答者数：185人 有効回答数：238 無回答：1人）



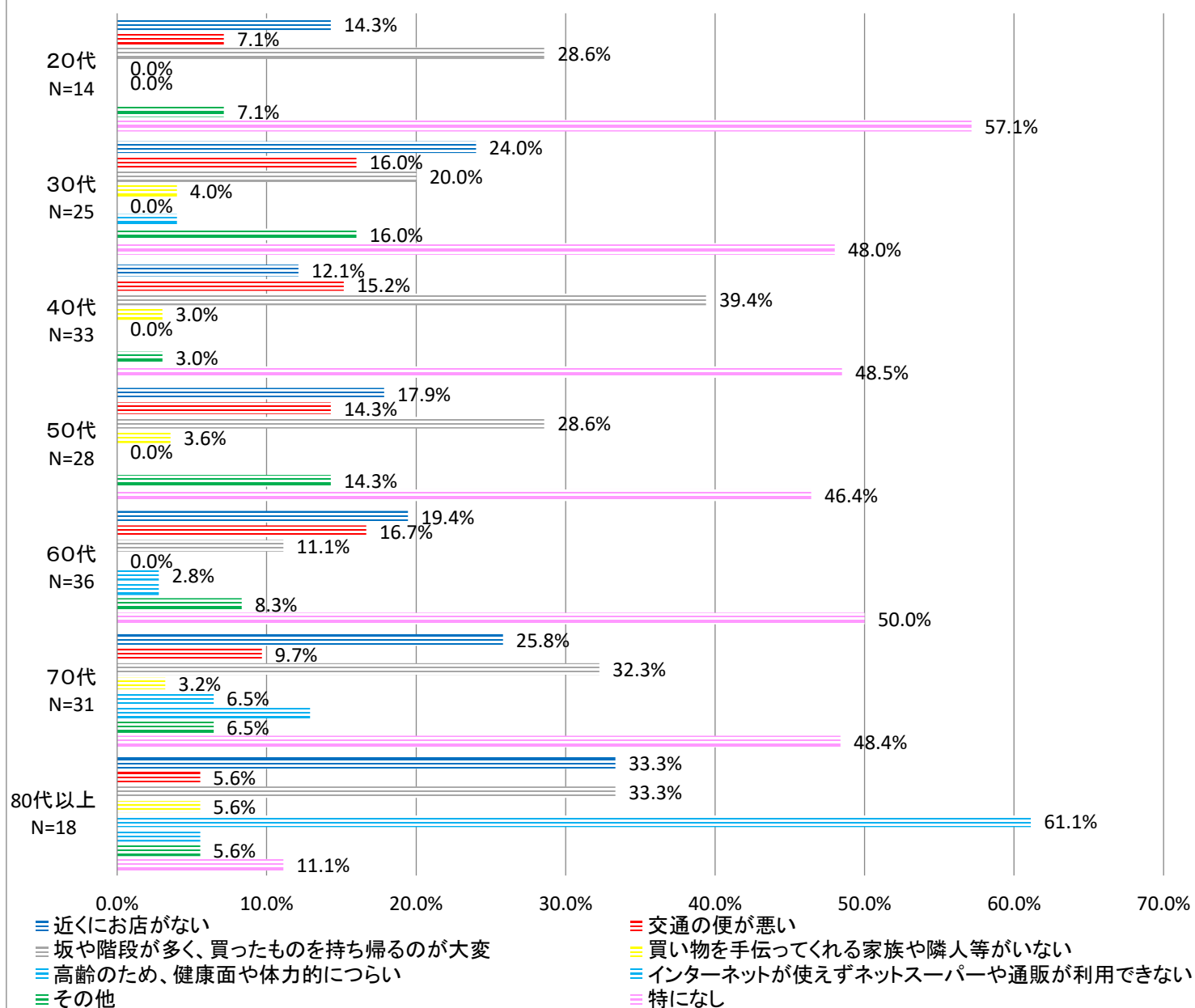
※その他の意見

- 自家用車が必要
- 配達してくれるスーパーがあるので、そこを時々利用している。
- 移動販売があればいいと思う。お年寄りが大変、階段や坂があるため。低価格で持ち運んでくれる業者があったら助かる。
- 自家用車が必要

- 怪我していた時期相談することができなかったことや重度の障害の子どもと二人暮らしで不便のため、現在は生協を利用している。
- 子どもが小さい為、ゆっくり買い物ができない
- 駐車場がない、狭い、有料である。
- 閉店が早い



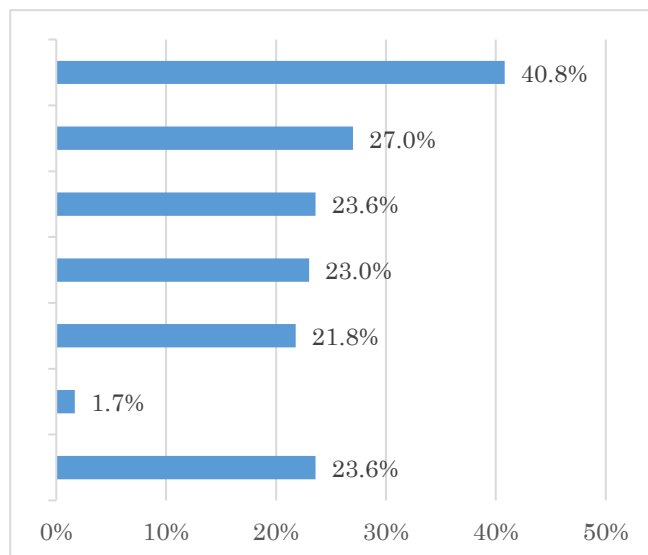
### 不便と感じる理由 年代別



生鮮食料品等の買物において不便と感じることについては「特になし」が45.4%で、不便と感じる理由については、『地域別』『年代別』ともに「近くにお店がない」「坂や階段が多く持ち帰るのが大変」が多いことがわかりました。また、主なその他の意見でも、高齢者や子育て世代が買い物の不便を感じており、何らかの支援が必要であると感じました。

問 32 どんな支援・サービスがあれば、あなたの買い物環境はよくなりますか。  
 (複数回答可)

選択肢	回答者数	割合
宅配サービス	71人	40.8%
ネット販売	47人	27.0%
移動販売	41人	23.6%
交通手段の充実	40人	23.0%
送迎サービス	38人	21.8%
ヘルパーの支援	3人	1.7%
※その他	41人	23.6%

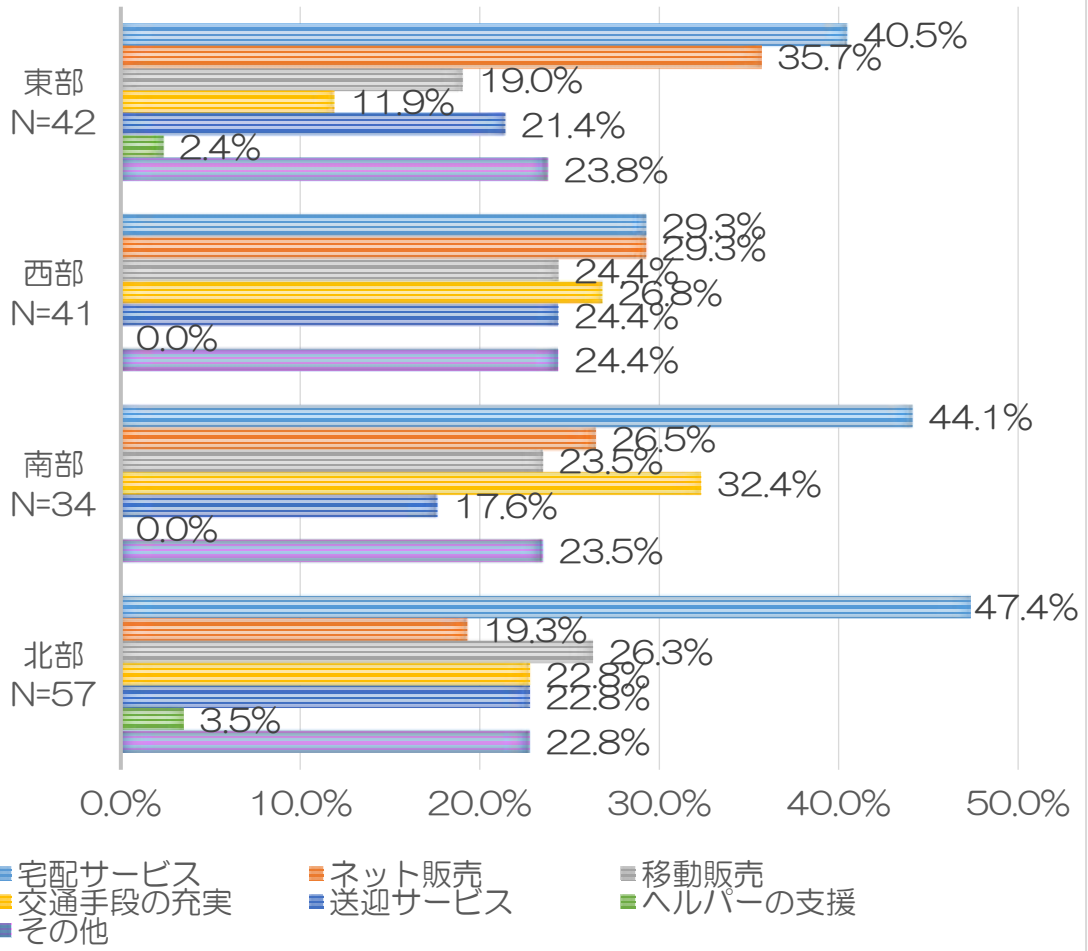


(回答者数：174人 有効回答数：281件 無回答：12人)

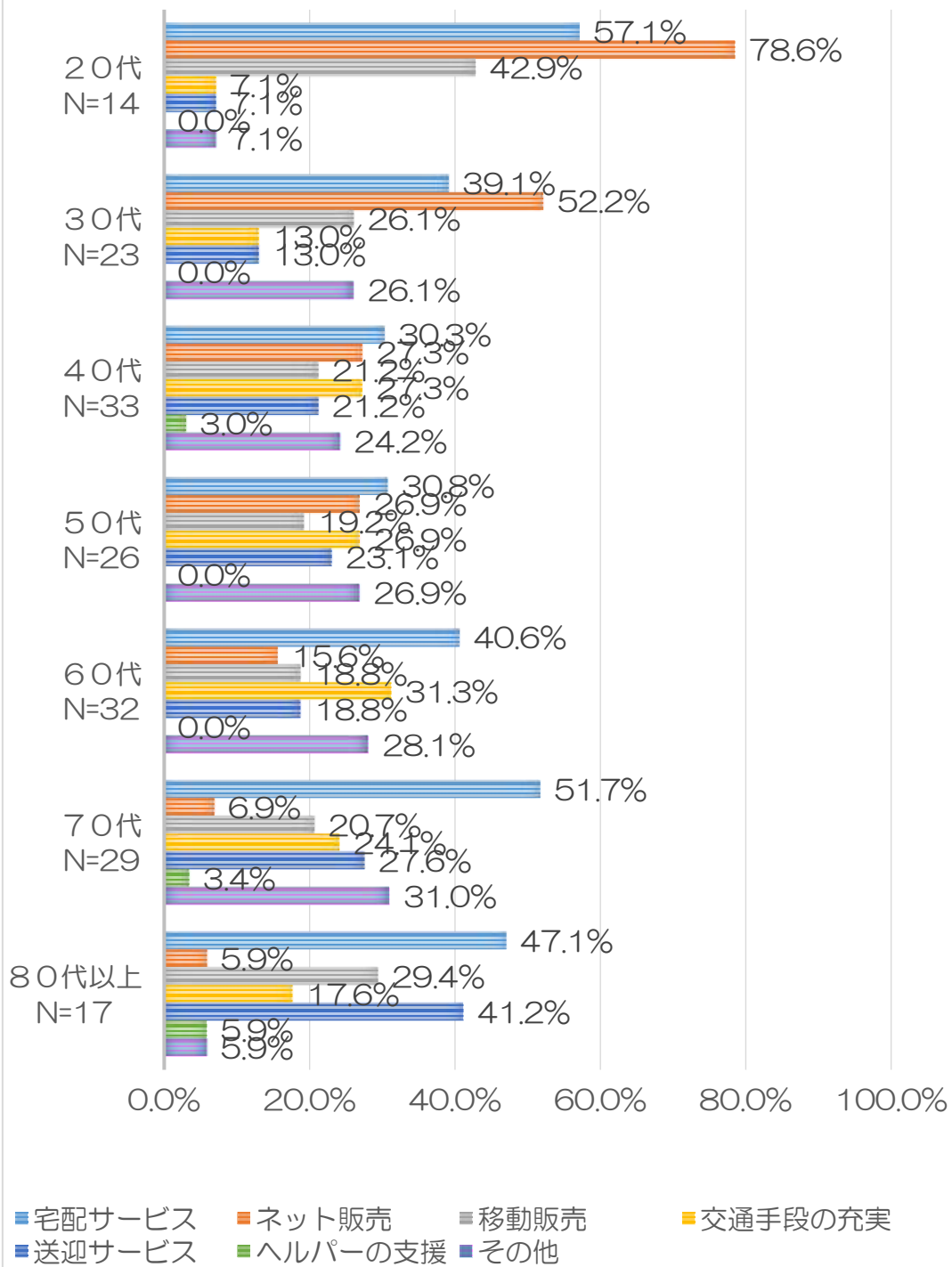
※その他の意見

- ・今のところなし(複数回答)
- ・地域の個人商店の活性化
- ・バスの本数が少ない。昼に少ないのは困ります。
- ・タクシーの質(安全性、接客態度)が向上するとありがたい。
- ・ドライブスルー型の産地直送品詰め合わせの販売会
- ・高齢の方や妊婦さんに対しての気遣い駐車場料金の無償化
- ・交通渋滞対策
- ・じげもん市など生産者が収穫した野菜や魚などを安く販売してくれる販売所
- ・20時以降も営業しているお店
- ・託児付きのスーパー等がもしあれば助かります。
- ・駐車場の設置(複数回答あり)

買い物環境向上に向けた支援・サービス 地区別



買い物環境向上に向けた支援・サービス 年代別





買物環境をよくするための支援・サービスについては、「宅配サービス」が40.8%で最も多く、次いで「ネット販売」が高い割合になっていることがわかりました。

『地域別』では、どの地域も「移動販売」や「送迎サービス」より「宅配サービス」を望む傾向があることがわかりました。

『年代別』では、「宅配サービス」や「移動販売」の割合が20代と80代以上が多く、その他の意見からも、高齢者のみならず、小さい子供の子育て世代も買い物が不便な状況であり、買い物支援サービスの必要性を感じました。一方、ネット販売については、20代と30代において高い割合であることがわかりました。